

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

- ・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。
- ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

【基本的な事項】

樣式第3號

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・毎朝礼時に、「職場の教養」（一般社団法人倫理研究所発行）の資料について、1項目ずつ取り上げて社内全員で輪読している。 ・「職場の教養」では、「倫理」についての考え方も多く示されており、「差別」がない職場環境整備に努めている。 ・経営者が人権擁護委員の任命を受け、人権擁護の活動にも積極的に取り組んでいる。					○			○		○					○		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・毎朝礼時に、「職場の教養」（一般社団法人倫理研究所発行）の資料について、1項目ずつ取り上げて社内全員で輪読している。 ・「職場の教養」では、「セクハラ、マタハラ、パワハラ等」についての考え方も示されており、「ハラスメント」がない職場環境整備に努めている。					○			○							○		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・勤務管理について、経営者が毎月従業員の勤務時間を確認し、長時間労働がないことを確認している。 ・ITシステムなどのデジタル化にも取り組む予定。								○									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・雇用条件に人種等の制限はなく、外国人労働者の差別、人権侵害はない。				○			○		○								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・職場内の身の回りの整理整頓を常に意識し、作業中の事故等が起きないような職場環境整備に努めている。			○					○									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・毎朝礼時に、経営者と従業員のコミュニケーションを必ず行き、従業員の心の変化に気付けるような社内環境整備に努めている。			○														
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・職場環境について、一部バリアフリーとなっているものの、より多様な人材が働く環境整備となるように引き続き努めていく。				○			○		○								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会				○					○									
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会・経済					○				○	○								
	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会・経済									○		○							

	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・印刷、製本等で発生した古紙のリユースおよびサイクルに取り組んでいる。						○	○	○
11	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・節電等に対して、従業員に意識付けている。 ・最新印刷機等へ設備の入れ替えによる省エネに努めている。					○			○
12	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・営業車等のアイドリングストップによる、騒音防止、排ガス等の抑制を社内で徹底している。				○		○	○	
13	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・印刷インキなどの有害化学物質について把握し、環境に配慮したインキなどへの切り替えなども検討している。	○		○			○	○	
14	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・プラスチック素材をできるだけ、紙素材へ切り替えていくことで、生物多様性や生態系などの環境へ配慮していく。			○					○
15	環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境				○				
16		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境		○	○	○		○	○	○
17		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境						○		
18		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境				○			○	
19		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境						○	○	○
20		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境				○		○	○	○
21		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・毎朝礼時に、「職場の教養」（一般社団法人倫理研究所発行）の資料について輪読を実施し、職場内で「汚職・贈収賄防止」に対する意識を高めることに取り組んでいる。 ・経営者から従業員へ、汚職・贈収賄を禁止する方針について周知・徹底している。							○
22	公正な事業慣行	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・毎朝礼時に、「職場の教養」（一般社団法人倫理研究所発行）の資料について輪読を実施し、職場内で「公正な競争」に対する意識を高めている。 ・経営者から従業員へ、不正競争行為に関与しない方針について周知・徹底している。							○
23		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・特許、商標等を取得すべき事象が発生した際には、知的財産権の取得および管理を迅速に対応することに努めていく。				○	○		
24		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報の取り扱いについては、経営者から従業員へ周知・徹底しており、社内で適切に管理している。							○
25		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会								
26		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスマント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会				○	○	○	○	○
27	【品質・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・新製品等の使用時には想定されるリスクについて洗い出しと対策を実施している。	○			○	○	○	○	○
28	製品・	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・顧客からのクレーム発生時には、誠心誠意真摯な対応を実施している。 ・また、再発防止策についても社内で検討および徹底することに努めている。				○			

30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境						○							○	○	○	○
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・「地域の環境保全」に資する取り組みとして、従来のクリアファイルのようなプラスチック素材を一切使用せず、すべて紙素材からできる「紙製クリアファイル」を新商品化し、自社のクリアファイルを順次切り替えるとともに、官公庁、民間企業、個人の方々にも「紙製クリアファイル」の利用促進に取り組む予定。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・地域の清掃活動をはじめとした地域活動に、積極的に参加している。			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○
33 社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会				○				○		○	○	○	○	○	○	○
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済					○	○	○	○								
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・毎朝礼時に、「職場の教養」（一般社団法人倫理研究所発行）の資料について輪読を実施し、職場内で「法令順守」に対する意識を高めている。 ・経営者から従業員へ、法令順守に対する考え方を周知・徹底している。														○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営者が、経営理念や経営目標を適宜適切なタイミングで従業員に共有している					○	○								○	
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会																○
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																○
39 組織体制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																○
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会																○
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																○ ○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済							○	○	○						○	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済						○	○									○

【記載留意事項】

- ・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（2021年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むSDGsに関する内容（水素・燃料電池、4パーセント・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】